

学びの杜通信



第20号 平成28年2月10日発行

研修報告 **育てます**

①連携の期待の星に！！～初任者研修「幼・保・小の連携」～

初任者研修（小・中）第18日（平成27年11月5日・10日）に、「幼稚園・保育所・小学校の連携」の講話・演習を実施しました。小・中学校の教員が小学校入学前の子どもの学びや生活の様子を知り、発達の見通しをもつことは、幼児期の教育の成果を小学校教育に生かす上で不可欠なことです。

小学校に入学した一年生は、幼稚園や保育所等の生活とは違う新しい環境に「期待」と「不安」を抱えています。そこでは、二つの段差が生じていると考えられます。



講話では、5問の○×クイズを中心に、幼児期の教育や小学校低学年の教育への接続について理解を深めました。

第1問 幼稚園は、学校である。 ○	第2問 幼稚園には、小学校の学習指導要領のようなものはない。 ×	第3問 小学校は、入学した段階で、平仮名が書けることを前提に学習内容を設定している。 ×	第4問 小学校には、低学年だけにある教科がある。 ○	第5問 小学校では、幼児期の学びを小学校教育に生かせるよう、入学当初のカリキュラムを工夫している。 ○
--------------------------------	---	---	---	--

演習では、「一年生がドキドキわくわくする国語の授業を考えよう！」をテーマに、幼児期の「遊びを通した学び」を入学当初の学習にどう生かすかをグループで考えました。

子どもが遊んでいる挿絵なので、幼稚園のとき、どんな遊びをしたかを、自由に話をさせたいです。

実際に、その遊びをやってみるのもいいね。

どんなことを話しているか、教科書に吹き出しを付けるのはどうかな。

春の歌をみんなで歌いたいです。

※ イメージ
国語の教科書の最初の見開きページ(楽しく遊んでいる様子の挿絵。文字はタイトルのみ。)を見て、どんな活動ができるかを話し合いました。

研修者からは、歌う、実際に遊ぶなどの遊びの要素を取り入れる、音楽や体育等の内容と組み合わせて合科的に指導するなど、柔軟なアイデアが出されました。幼・保・小の連携の期待の星です。

【問合せ先】 幼児教育部 (TEL 028-665-7215)

②特別支援学級担任及び通級による指導担当者を対象とした研修報告

教育相談部では、小・中学校の特別支援学級担任及び通級による指導担当者を対象に、次の研修を実施しました。講話では、当センターで作成したハンドブックを活用しました。

研修名	対象者	受講者数	開催日数	主な内容
特別支援学級等 新任教員研修	1年目の教員 (教諭・助教諭・講師)	100名	5日間	・学級経営、教育課程、障害のある子ども及び 保護者理解等に関する講話 ・授業づくり等に関する研究協議
特別支援学級等 実践研修	3年目の教員 (教諭・助教諭・講師)	47名	4日間	・教育課程等に関する講話 ・授業づくり、進路指導、校内教育支援委員会 に関する研究協議

<各研修の研究協議の紹介>

「特別支援学級等新任教員研修」では、小・中学校ごとに障害種別の班を編制し、同じメンバーで、半日ずつ3回の研究協議を行いました。回を重ねるごとに、どの班でも教材教具の作成や具体的な指導などについての情報交換が積極的に行われました。

「特別支援学級等実践研修」では、地区ごとや障害種別に小・中学校合同で班を編制し、3日間の研究協議を行いました。授業づくりや進路指導を進める上で、小・中学校の連携の重要性を改めて認識することができました。

研修で活用したハンドブックの内容は、総合教育センターのホームページから見るすることができます。



→Click! <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/sodan/cyosa/cyosa.htm>



【問合せ先】教育相談部 (TEL 028-665-7210)

栃木県教育研究発表大会について（お礼）

広げます

平成27年度栃木県教育研究発表大会が1,095名の御参加をいただき、盛会のうちに終了しました。第2日は雪の降る中、たくさんの方々にお越しいただきました。御発表、御参加いただいた皆様、御協力いただいた関係機関の皆様には厚くお礼申し上げます。

県内の学校等による先進的な実践発表と、発表に基づいた研究協議が行われました。今年度は、小学校外国語活動部会と校内研修部会の2部会が復活し19部会を開催しました。健康教育部会では、「子どもたちの健康を考える」というテーマで幼稚園、小学校、中学校から、遊びや食習慣、多様な運動についての発表が行われました。また、「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善について、国語部会、数学部会、学校経営部会、校内研修部会など複数の部会で取り上げられていました。どの部会も、熱心に発表に聞き入り、協議する参加者の姿が見られました。「とちぎの教育未来塾」からは延べ156名の塾生の参加があり、現職の先生方と積極的に交流する姿が見られるなど、部会の活性化に繋がりました。

忙しい中であっても、参加してよかったと思えるような大会となりますよう、次年度も発表内容の一層の充実を目指したいと思います。

大会当日の様子は、後日、当センターホームページにて公開しますので、是非、御覧ください。



〔小学校外国語活動部会の協議の様子〕

→Click! <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/kensyu/h27-kenkyu/>



【問合せ先】研究調査部 (TEL 028-665-7204)

○この通信に関する御意見・御感想をお待ちしています。入力・送信は [こちら](#) から

・センターホームページ (TOP) は、[こちら](#) ・学びの杜通信のバックナンバーは、[こちら](#)